

**●主な活動の記録 (4月～9月)**

4月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

各地でのコロナ感染拡大、大都市圏に発令された緊急事態宣言の事態を受け、各種活動・催し物が自粛される中であって、本日集まった15名が話し合った結果、当クラブも5月の第二土曜日(9日)定例までの活動を休止することとした。

これにともない、本日予定していた活動も取り止め、自由解散に。一部は花見を兼ねて散策、東明寺まで足を延ばした者も。桜広場の山桜は殆どが葉桜に、八重桜は盛りを過ぎたものの咲き誇っていた。

若手中心の数名が残って大きな間伐材を利用してのベンチ作りも。

この間、新型コロナ自粛規制のため活動を休止。

以後の活動に際しては、マスク持参。

5月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

自粛解除後の最初の活動、21名の元気な顔が揃った。朝会でメンバーで最長老の内山さんが、今月元気で93歳の誕生日を迎えられ、皆で拍手でお祝い。午前中は3手に分かれて活動。

- ・若手5名は、薪置き小屋づくりに使うため、モミジ谷の間伐材搬出に。
- ・他の男性の大半は、野鳥の森草刈り整備作業。刈り取った笹は、観光客激減で煎餅の貰いが減った鹿のために、奈良鹿愛護会へ持ち帰る。
- ・その他は、炭窯周辺の草刈り整備

午後は、午前中に運び込んだ間伐材の皮むき作業と、若手を中心に管理道とみんなの森への分かれ道の角にある、大きなナラ枯れの伐倒作業。上には力枝が5・6本広がっており、まずこれの切り落としのため、樹上高くまで登り作業後、慎重に受け・追い口を入れ、最後はチルホールでほぼ予定の方向に、安全に引き倒した。小口切りにし、薪や椅子作りに利用予定。



野鳥の森草刈り



炭窯周辺草刈り



皮むき作業



樹上での力枝落とし

6月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

この日、雨の予報ながら14名が参加。

午前中は、この3月に「緑の募金」公募事業で植樹を行ったモミジ谷での草刈り作業。大半が手鎌での坪刈り。あとは、雑木の処理や沿道の草刈り。ほぼ作業が終わるころには雨が少し強まってきたので、昼までには少し時間があつたが、交流館へ引き上げる。

昼食後は、シイタケ植菌し仮伏せしておいた原木の本伏せをするため、まずシイタケ銀行周辺の草刈りと整備をした後、皆で手送りしながら、順に支柱に交互に立てかけた。

山の日を挟んだ、恒例の「山と川の月間」として県内各地での各種イベントや、県主催の”山もりてんこ森”の中止や延期に伴い、当クラブの対応を検討結果、従来通り8月8日(土)に”森林作業とクラフト体験”のイベントを、一般参加者を募っての開催を決定。

詳細は、HP 本体のイベント案内を参照ください。



整備作業



シイタケ原木の本伏せ作業



6月27日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加20名。午前中大半は、野鳥の森の下草刈りと近辺の沿道の草刈り。いずれも下刈り器やカマを使っての作業。また一部は入り矢田山遊びの森モニュメント付近のツツジの剪定。

午後、交流館横のツツジの生け垣の剪定と、若手を中心に間伐材使用による薪置き場づくりを行う。

終了後、林野庁助成事業の窓口である林業普及協会杉本氏を担当者が、本年度の作業予定地に案内し検分。



==ツツジの生け垣剪定作業風景==

7月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

雨のため集まったのは9名。朝会で、今年度の助成事業として申請していた当クラブのモミジ谷での”憩いの場としての豊かな自然の森づくり”と、FV連の天川村陀羅尼助の里でのリーダー研修(来年3月開催予定)いずれも認可された旨、各担当理事より報告あり。

午前中、早速モミジ谷作業予定地の確認と、整備方法の確認のため、全員で現場におもむき、残すべきそこそこ育っている実生のモミジにテープをつけたり、伐採すべき枯損木並びに常緑雑木選びを行った。

午後は、刈払い器とチェーンソーの目立て、及び刈払い器のグリースアップ等の器具の整備を行い、少し早めに終了。雨は昼には上がっていた。



==現地調査==



実生モミジ



目立て作業

7月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

新型コロナウイルスによる自粛ムードに加えて、生憎の朝からの大雨もあつてか参加者8名。内一名小野理事の呼びかけで友人の竹口さんが新規参加。

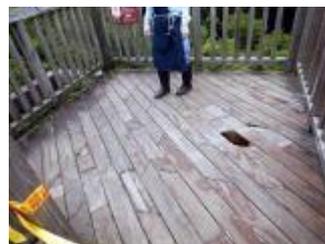
本日は雨のため、野外活動が出来ず、機器のメンテナンス、クラフト材料の点検等を行った。

頂上展望台は、現在床板損傷のため使用が禁止されているが、早急に使用できるようにするため、何か手伝いができないか、県庁公園課に声掛けを行っている。谷川さんと竹口さんと現場で調査、今の床板の上にコンパネ材を打ち、その上から新たに床板を張る方法かどうかの提案があった。

梅雨が明けると、ハイキングで矢田山の利用者も増えると思われるので、早々に使用禁止が解除されることが望まれる。

自然公園課でどのように検討されているか、近々に伺ってみることとなった。

雨のため昼食後早めに解散。



==機器のメンテナンス作業風景==

床板損傷箇所

### 8月8日（土） 定例活動 クラフト指導 矢田山遊びの森

参加 16 名。午前中、大半は前回雨のため出来なかった「緑の募金」公募事業モミジ谷の整備事業を実施。担当の小野理事より整備方針の説明を受けて作業開始。以前植樹したものや実生のモミジを残すため、手鎌で笹や雑木を刈り取った。ところどころにあるナラ枯れの伐倒に当たっては、保存木を傷付けないように慎重に作業を進めた。

午後は、榊野工務店横の空き地で草刈り及び竹の伐採を実施。しばらく草刈りをしていなかったため、背丈より高い雑木が繁殖している思いのほか作業は捗らなかった。

非常に暑く、熱中症の危険があるため一時間ほどで終了。途中遊歩道でナラの倒木があり、処理を実施。

クラフト指導：例年この日は県主催の「山の日川の日」月間に合わせての協賛イベントとして実施していたが、県の行事がコロナのため中止となったものの、当クラブ単独で一般参加者を迎え午前中に実施。居合わせた 2 家族 7 名にジージージェミづくりを指導。子どもたちはノリの乾くのを待って、早速ブン回し音を楽しんでいた。



ナラ枯れ処理



草刈り整備後



参加者の皆さん



ジージージェミで遊ぶ

### 8月22日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

本日も猛暑の予報が出ているに関わらず、13 名が参集。

午前中、全員で前回に続き榊野工務店横空地での雑木除去・草刈り整備と隣接の人工林内の灌木・竹の除伐と、R308 沿いフェンスに絡まった雑草の除去を行った。熱中症対策として、途中水分補給・休憩を各自随時取りながらの作業を昼まで実施。

昼食後、引き続き強烈な暑さを鑑み、自由解散とした。残った幾人かは、午前中の作業で処理し持ち帰った太めの竹を利用し、青竹踏み並びにぐい呑みコップを作り、希望者が持ち帰るようにと、子ども交流館受付の所に展示。

実施中の林野庁助成事業で間伐材の集材用として、新たにロープウインチを購入したので、これの使用方法説明の講習会を 9 月 6 日（日）に開催する旨の案内が理事長よりあった。多くの参加をお待ちしています。（これは手軽で一人でも操作可能。）



== 炎天下の作業風景 ==

9月6日(日) ポータブルウインチ講習会 矢田山遊びの森

林野庁交付金の助成を受けて実施中の矢田山森林整備事業の一環として、間伐材搬出用に新たに購入したポータブルウインチの使用法の講習会を小笹の辻付近で11名の参加で実施。

この機器を導入した理由は、ウインチ本体が9.5kgで、その他の道具を含めても軽量で運搬が容易、非力な人でも安全・確実に操作が出来ること。最初に、使用する道具の紹介、役割、取扱上の注意点を説明。その後8月に間伐したヒノキ(経約30cm、3m)を管理道近くまで直引きで集材する方法を参加者に順番に体験してもらった。体験者はロープを軽く引っ張るだけで簡単に動き手を放すと停止するので安全だという感想。次いでロープ架線(メインロープを高さ3m位にセットし、その上に搬器=今回は滑車で代用=を吊り集材する方法)を体験した。この方法は木材の片方を浮かせて集材するやり方で、地面上の障害物を避けられる利点がある。その後、伐採方向と反対に傾いたヒノキをウインチで起こし伐倒した。集材だけではなく、掛かり等にも使用できるので、大いに活用したい。



本体機器



カバーをつけ



作動開始



ロープ掛け集材

9月12日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者14名。内一名の新入会山本さんが朝会で自己紹介。午前中男性は「緑の募金」公募事業、モミジ谷の整備。作業開始前、新しくなった本事業の内容案内の看板を前で記念写真後、チェーンソー・下刈り器・手鎌での灌木の除去、草刈りを実施。徐々に整備済みと未整備との見分けつくようになった。女性陣は、倉庫の整備。

午後は次週の世界出前講座(二か所)でのクラフト指導のため、ジージーゼミとガリガリトンボの見本や材料づくりを実施。若手男性陣は、以前から間伐材を利用した薪置き場を作っていたが、これが完成。早速多くの薪を搬入。



事業案内板の前で



==整備作業風景==



クラフト見本づくり

9月13日(日) 環境出前講座 柳生公民館

同館が主催されている「興味津々クラブ」として柳生地区の子供向け講座の一環として実施。当クラブより3名が赴き、2年~6年生までの10名を対象に、クラブ活動の内容・スタッフの紹介後、森の役割・重要性を皆に考えてもらい発表してもらった。

その後、ジージーゼミ、休憩をはさんでガリガリトンボづくりを指導。子人数で時間も2時間とゆとりがあり、ゆっくりかつ丁寧に作り方の手順を説明しながら進めた。ジージーゼミでは紙の貼り方が緩かったり、ガリガリトンボでは本体割りばしへの削り込み不足で、羽が回らなかったものがあったが全て手直し全員満足。



==講座風景==

9月15日(火) 環境出前講座 富雄南小学校

同校5年生三つの組計96名を対象に、正規の授業時間一コマを使って実施。4名が指導にあたった。非常に限られた時間内で、クラブの活動紹介、森の役割、クラフト材料である竹の特性等の説明のあと、ジージゼミづくりの手順を黒板で図解しながら作っていった。本来材料・色は各自選ばすところだが、蜜を避けるため予め一人一人に配布しておき、また授業時間内ゆえ、必要な道具、鉛筆・ハサミ・のりは各自持っておりこの点効率よく進められた。最後に不具合で音の出ない場合の修正方法と、音の出る仕組みを解説して終了。この後、校長室へ招き入れられ、校長より労いの言葉を頂いた。コロナで各種の行事が中止となる中での実施ゆえ、子供達も大変喜んでいた模様。



==作成風景==

早速試してみる

<続報>

後日、児童一人一人から、如何にモノづくりを楽しんだかと共に、心のこもったお礼状を、感謝状と共にお届けいただきました。

9月26日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

朝方は、チョット天候が心配されたが、男性14名、女性2名計16名が参加。まだまだ新型コロナの影響が大きいようだ。

午前中は2班に分かれ、1班は「野鳥の森」で遊歩道やカキの木の周りの下草刈り。2班は、野鳥の森へ通じる遊歩道わきのナラ枯れを5本伐倒、北に市街地が望めるようになった。今年の野鳥の森の”みのり”は不作のようだ。

午後には、「冒険の森」の調査をした。ここ矢田山自然公園には「冒険の森」という魅力的なエリアがあります。場所は情報館から頂上展望台へ向かう管理道の鎖ゲート手前を右(北側)へ入ったところですが、近年荒れがひどく、通行止めになっています。何とか利用で出来ようにならないか調査を試みました。少し手入れをすれば楽しめる場所になると思います。楽しい”秘密基地”等作れそうです。少しづつ林内整理と調査を続けたい。

またシイタケ銀行の周りが茂ってきたので草刈りを実施。この後、機械の手入れと、10月18日、奈良県主催の「山もりてんこ森」イベントでのクラフト指導のための材料の準備。

全員ケガもなく、三蜜を保ちながらも楽しくこの日の活動を終えた。

少し気の早い話ですが、12月26日、「今年最後の活動日ですが「お楽しみ部会」では、「山の神様」への感謝の意を込めて「餅つき」を計画中。乞うご期待!



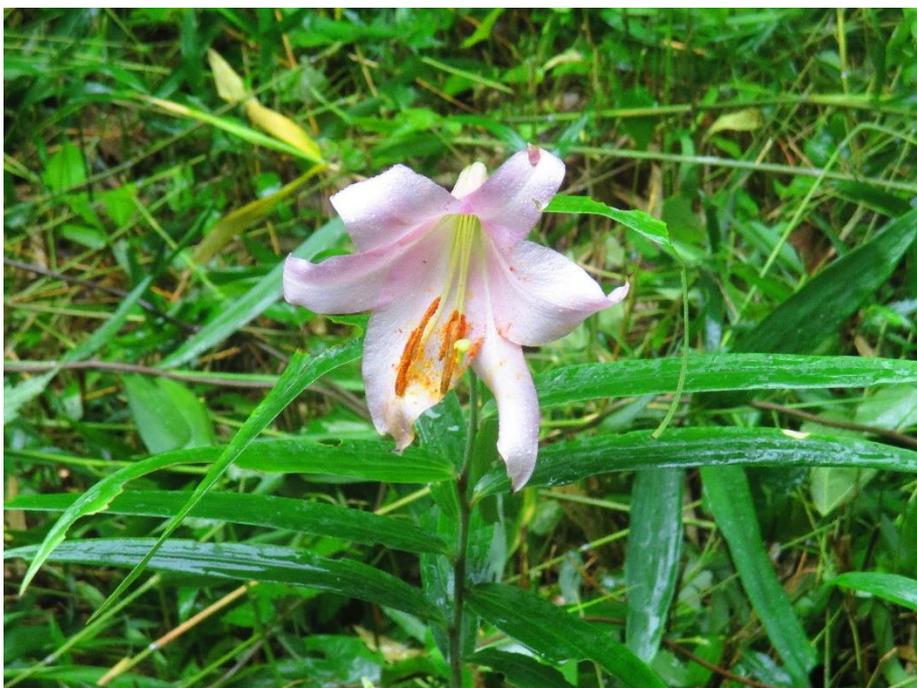
＝整備作業風景＝



ナラ枯れの伐倒



参加の皆さん



矢田山で可憐に咲くササユリ